



# ウトナイ湖通信

No.176

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 発行

## トピックス

### ☆ あけましておめでとうございます ☆



旧年中は多くの皆さんにご利用いただき、誠にありがとうございました。野生鳥獣と人間との共生を考え、実践していく場として、野生生物の重要な生息地であることを知っていただく、また、人為的な要因で収容された傷病野生鳥獣の救護にあたる、という当センターの設置目的に則って、本年もさまざまな活動を展開したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



### ☆ マガンたちは越冬する(した)? ☆



美々川流入部のマガン。  
ハクガンが混じる(2018年12月8日)

冬の初めは暖冬傾向とされていましたが、12月に入り、日によって状況の変化はあるものの、湖は例年どおり、ほぼ全面が結氷。採食や休息をする水面が少なくなると、水鳥の種数や羽数も変動します。

9月20日に30羽前後を初確認し、10月18日に最大羽数の8120羽以上となったマガン。いつもの年であれば、湖が結氷すると、道南(新ひだか町など)や本州の越冬地へと移動し、ウトナイ湖から姿が見えなくなりますが、今季は12月13日現在、まだ300羽前後が美々川流入部に滞在中。しかも、ハクガン2羽がその群れに混じっています。

秋の渡りでは例年、午前中に何処からか飛来して湖で日中を過ごし、午後に飛去するため、ねぐらは別のところにある、と考えていましたが、今季は12月のある日の早朝に、湖から飛び立つ群れを確認し、どうやら湖をねぐらにしているマガンも少なからずいるようです。午後に周辺の畑に降りている姿も確認されており、これはねぐら入り前の採食なのかも知れません。

このまま2月にかけて滞在するのか、美々川流入部がねぐらとなっているのか、マガンたちの動向に注目しているところです。

### ☆ 「世界湿地の日」記念イベントをお楽しみに ☆

ラムサール条約(特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)は、イランにある同名の都市で1971年2月2日に結ばれました。

これを記念して、1977年から毎年この日を「世界湿地の日(World Wetlands Day)」とし、条約の目的や意義について広く伝える活動が世界各地で行われています。



ウトナイ湖でも例年どおり「冬を楽しむミニツアー」を予定しているとともに、2019年はスノーシュー体験イベントが久々の復活。オオワシが姿を見せるかも知れません。詳細は最終頁に掲載しました。どうぞご参加ください。



オジロワシやオオワシの姿が見られるはず



ゴジュウカラ

【自然観察路情報】 2018年12月8日(土) 10:00~12:00

観察された生きもの

《野鳥》

マガン、オオハクチョウ、マガモ、ホオジロガモ、ダイサギ、オジロワシ、コゲラ  
オオアカゲラ、ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、キバシリ、ゴジュウカラ  
種不明カモ類、ベニマシコ、アオジ



オジロワシ

《植物》

ズミ、エゾノコリンゴ、ツルウメモドキ、チョウセンゴミシ、ケヤマウコギ  
イボタノキ、メギ、キハダ、ハンノキ、カラコギカエデ(以上、実やタネ)  
エゾニワトコ、ヤチダモ、ホオノキ(以上、冬芽)、エゾニワトコ(冬芽)

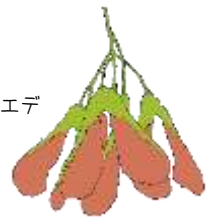


エナガ

《昆虫・その他》

キタキツネ、エゾシカ、エゾリス、エゾヤチネズミ?(以上、足跡)  
エゾリス?(古巣)、ヤマトゴミグモ(卵のう)

カラコギカエデ

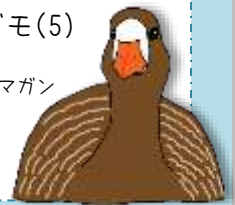


【水鳥カウント調査結果】 2018年12月13日(木) 15:00~16:00

観察された水鳥、ワシ・タカ類 \*( )内は個体数、(+)は「以上」、(±)は「前後」の意味

ガン(370±)、ハクガン(2)、コブハクチョウ(10)、オオハクチョウ(239)、オカヨシガモ(5)  
ヨシガモ(6)、ヒドリガモ(28+)、マガモ(124+)、オナガガモ(2)、コガモ(2)  
ホオジロガモ(6)、ミコアイサ(14)、カワアイサ(1)、カイツブリ(1)、ダイサギ(5)  
オオバン(20)、トビ(1)、オジロワシ(1)、ノスリ(1)、種不明ワシ類(1)

マガン



1月の自然予報

美々川や勇払川の流入出部ではヨシガモやオオハクチョウなどが冬を越しています。「道の駅」前や「イソシギのテラス」からの観察がオススメです。

氷上や対岸の樹上には、オジロワシやオオワシの姿が見つかることでしょう。

この冬は林で見られる冬鳥が非常に少なく、毎年必ず群れで確認されるマヒワですら姿がほとんどありません。寒波到来など今後の気象状況によっては、変動があるかも知れません。期待しましょう。



しきりに食べものを探すアカゲラ



エナガ(亜種:シマエナガ)も比較的よく観察される



時にはこのような氷の造形も

樹木の冬芽を観察するのに良い時期となりました。枝先に注目してみましょう。

食べものを求めてか、結氷した湖上を歩くキタキツネが見られるでしょう。

新雪の上には、エゾユキウサギやエゾリスなど動物たちの足あとがあります。持ち主はだれか、どちらに進んだのかなど、想像しながら観察すると、より楽しめるでしょう。

【 エゾニワトコ(冬芽) 】

早春に他の樹木に先がけて葉を広げる落葉樹。高さは3~5メートルになり、しなった枝ぶりが特徴。5月ごろ、白っぽいクリーム色の小さな花が集まって咲き、実は夏の終わりに赤く色づきます。冬芽は対になって付いており、並んだ双子のようです。



\*ウトナイ湖に関するクイズ

毎回、その月にあわせたテーマで出題しています。あなたもウトナイ博士になれるのかも。

Q. 今年の干支は亥。さて、イノシシに関する次のうち、誤っているのはどれ？

- (あ) 北海道にもすんでいる
- (い) じつはエゾシカと同じ仲間である
- (う) 植物以外に昆虫なども食べ、いわゆる雑食である



答えは最後のページにあるよ。

傷病鳥獣ルームから



当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺（苫小牧市行政区域内）において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をみなさまに知っていただくコーナーとして、ここでご紹介いたします。

2018年 10月 19日 晴れ

早朝、石狩管内の港近くの空き地で動けずにいたところを保護

10:00 センターへ搬入。外傷はなく、触診でも骨折等の異常はなし。チカを小さくカットし与えたところすぐに自発採餌を始める。

14:00 食欲もあり全身状態に問題がなかったため、衣装ケースに水を張り、水中での動きを確認。更に水の中に魚を入れたところ、潜水採餌を始めた。

15:00 同種が生息している湖でリリースした。

カイツブリ



カイツブリ (カイツブリ目カイツブリ科)

日本でみられるカイツブリ類の中で、最も小さい体をしています。北海道では主に夏鳥として、春から秋に観察することができます。足は後方に位置しており、足首がとても柔軟で、潜水や自由な方向転換を得意としています。また、特徴的な繁殖行動のひとつとして「浮き巢」という、水草などで皿型に作った巣を水面に浮かせませす。雛が小さいうちは親鳥が背にのせて泳ぎ、時に雛を乗せたまま潜ることもあります。

2月2日

# イベント情報

## 「世界湿地の日」記念イベント

### 冬を楽しむミニツアー

日時：2月の土日祝(2/3は①のみ)

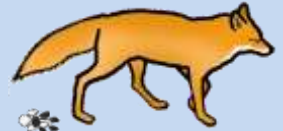
各日①11:00~11:30②14:00~14:30

定員：なし(小学生以下は保護者同伴)

申込み：不要。当日①は10:30から

②は13:30から受付

内容：自然観察路を歩きながら、レンジャーやボランティアがセンター周辺の自然を紹介します。結氷した湖、動物の足跡、活動する小鳥などを観察しましょう。



### 冬の湿地をスノーシューで探検しよう！

日時：2月3日(日) 13:00~14:30

対象：どなたでも

(小学生以下は保護者同伴)

定員：先着20名

申込み：電話(0144-58-2231)

または直接来館で(1/4より受付)

### 木の枝や落ち葉を用いた工作

日時：2月3日(日) 10:00~14:00

対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

内容：台風などで折れた枝や、落ち葉、木の実などを用いて写真立てなどを作ります。



### 湿地クイズラリー

日時：2月開館日の開館時間内

内容：館内に設置した、湿地に関するクイズに挑戦！参加者にはしおりを差し上げます。



## 市民ギャラリー

### 「勇払原野の帰化植物写真展」

日時：第1回 1月6日(日)~1月19日(土)

第2回 1月20日(日)~2月3日(日)

展示：奥山 博美さん

## お知らせ

### 年末年始 休館日のお知らせ

12月29日(土)~1月3日(木)



### ◆ウトナイ湖◆

周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。

鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。このためウトナイ湖は、国指定鳥獣保護区特別保護地区、ラムサール条約湿地、東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワークに指定、登録されています。

### ◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆

環境省が「野生鳥獣との共生環境整備事業」により建設し、苫小牧市と共同管理する施設です。

また、苫小牧市が業務の一部を(公財)日本野鳥の会に委託しています。

### 【利用案内】

〒059-1365 苫小牧市植苗 156-26 TEL. 0144-58-2231 / FAX. 0144-51-8600

入館無料 / 開館時間：午前9時~午後5時 / 休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

